

## 2024年CBW交流の感想文

2024年CBW国際交流プログラムでカンボジアに3泊5日滞在することになりました。

人生初の海外旅行で、飛行機に乗るのも初めてだったので、とてもワクワクしました。

カンボジアに到着したとき、空港でビザの発給を受けるのに少し苦労しました。

その時、手伝ってくれたカンボジアの現地人の優しい笑顔が良かったです。

二日目は朝早く起きて朝食を食べるため、初めてカンボジアの食べ物を食べてみましたが、悪くはありませんでした。しかし、野菜中心の食べ物なので、慣れ親しんだものばかりを食べました。

そして、カンボジアの児童養護施設を訪問しました。

初めて入った時、その施設の子ども達が恥ずかしそうに笑顔で挨拶をしてくれたのですが、その笑顔が忘れられないです。

韓国で人気のお菓子を持って行ったら、カンボジアの子ども達がとても気に入ってくれて、とても喜んでくれました。

そして、「あなたは愛されるために生まれた人」という歌を歌ってくれたのですが、各文化の言語でお互いに目を合わせながら歌を歌ったのですが、その時の子ども達の目が忘れられません。とても感動的で涙が出そうになりました。

旅の中で一番印象に残っている瞬間だったと思います。

言葉では表現できないような幸せな気持ちを感じさせてくれたカンボジアの児童養護施設の園長先生や関係者の方々、子ども達にとっても感謝しています。

三日目はトゥールスレン大虐殺博物館に行き、カンボジアの歴史について知ることができ、

各チームに分かれてカンボジアでやりたいことを体験し、一緒に時間を過ごしました。

韓国では乗れないカンボジアの有名な交通手段であるトゥクトゥクにりましたが、安全で快適でした。涼しい風を浴びながら癒される時間でしたし、プノンペンで一番大きくて有名なセントラルマーケットにも行きました。カンボジアのお土産も買ったり、チームメンバーとTシャツを合わせたり、それぞれが買いたいものを買ったり、楽しい思い出を作ることができました。

最終日には、CIESFリーダーズアカデミーを訪問し、その学校に通う子ども達が用意してくれた学習発表を見た後、日本チームと韓国チームが準備してきた出し物の発表を行いました。そして、3日目のプログラムでカンボジアで学んだことを各チームごとに発表する時間を持ちました。

各チームごとに、何を学び、何を感じたのか聞くことができ、知ることができました。

カンボジアの友達と日本の友達の温かさを感じることができる旅でした、

心配していたのですが、思っていたよりもとても良い旅をして、良い思い出を作り、とても良い経験をする事ができたと思います。次回機会があれば、ぜひまた訪れたいと思いました。

